

深谷しげのぶ 平成24年度2月定例会 本会議反対討論

BRT導入反対! 本会議で反対討論

「BRT導入の費用対効果に疑問。市民への説明と合意を優先、1からやり直すべきだ!!」

BRT導入の予算が本会議で可決

新潟市議会は3月22日の2月定例会本会議において、BRT(バス高速輸送システム・連結バス)構想の予算を賛成多数(賛成41、反対11)で可決、これにともない新潟市は4月初旬に新潟交通と基本協定を締結し、具体的な運行計画などが協議されることになりました。

現在予定されているBRTの計画路線は、JR新潟駅から西区青山までの第一期導入区間で平成26年度中の実現を目指しています。

深谷しげのぶ 本会議反対討論

また本会議において、深谷しげのぶを含む三人の市議員より「BRT導入の費用対効果に疑問が残る」「市民への説明と合意を優先すべき」「一からやり直すべきだ」という反対討論を行いました。

以下、BRT導入の反対討論(H25年3月22日)より抜粋。

▶新潟市は本定例会が開催される直前まで、新たな交通ネットワークの構築として、①地域内生活交通の強化、②都心アクセスの強化、③都心部移動の円滑化、これら三点の実現をセットで目指すとしていました。つまり都心部へは接続バスを導入して専用走行路を走らせるというBRT構想の実現によって定時制と速達性を向上させ、利便性を高め、バスの集約によって生じた余力を郊外路線の再編に振り向けるというものであります。

ところが本定例会に提案された議案は、専用走行路の整備は最長で5年間も先送りして、既存のバスレーンでの運用を開始すると突然計画を変更しました。例えるならば、まるで線路も轢かずに電車を走らせるようなものです。まさに本末転倒であります。これでは都心部の利便性を確保することなど不可能であり、そもそも市が実現するとしてきたBRTという交通システムですらありません。

また、既存のバスレーンでの見切り発車は、本来の目的の達成を不可能にするだけでなく、交通混乱を招き、事故の発生まで誘発しかねません。このままでは接続バスは駐停車中の車両を避けるために車線変更を求められ、文字通り右往左往することになります。重大な人身事故が発生したらどうするのでしょうか。もちろん第一義的にはその責任は当事者同士が負うこととなりますが、見切り発車させたことによる動議的責任は市にも及ぶものと考えます。

やるならば計画通りきちっとやる、どうしてもダメなら一旦元に戻ってやり直す、これが失敗しない唯一の方法であり、誰も傷つけない、誰にも責任が及ばないはずのどっちつかずの中途半端な選択が一番悲惨な結果をもたらすのだと考える次第であります。

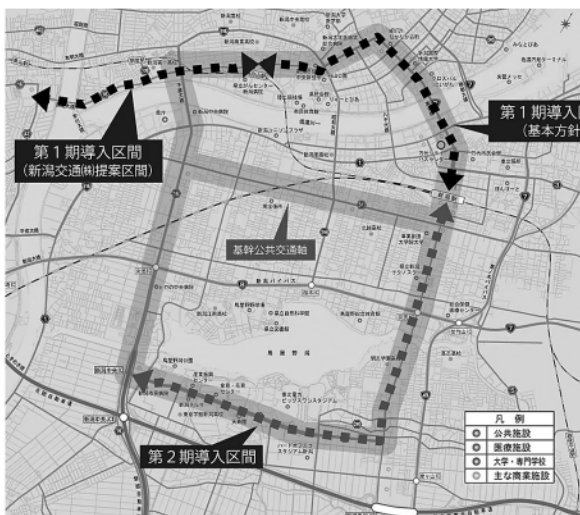
従いまして本事業予算を含む議案第一号につきましては反対であるとの意見を明確に表明し、もって反対討論といたします。◀



巨額な事業予算と効果への疑問

平成25年度の一般会計予算では、BRTバスの購入費だけで1億6,650万円、これに関連する新たな交通システムの導入予算を加えると2億5,570万円が計上されています。さらに平成26年度予算には12.7億円が予定されており、平成31年の第一期導入区間完成予定までの事業費は総額で約30億円が見込まれ、その後も平成34年度を目標とする第二期導入区間が計画されています。

「新たな交通システムの導入基本方針」として平成24年2月に公表されてからまだ日が浅いBRTの導入計画について、「存続可能な新バスシステム」の構築を目指すのであれば、まず市民への説明と合意、市議会での議論を十分に重ねる必要があると思われます。今後もBRT導入の詳細や経過については、引き続きお伝えしたいと考えています。



基幹公共交通軸とBRT導入区間について。第1期完成型は平成31年度、第2期は平成34年度を予定しているが導入に向けての段階的な取組みはまだ見えてこない



BRT(バス・ラピッド・トランジット)とは、都市域用の連結バスによる高速大量公共輸送システムのこと(イメージ図)



BRTは専用道路を走る高速バス輸送システムのこと。左写真は東日本大震災で被災し休止中のJR大船渡線(気仙沼-盛岡)間のBRT。接続車両ではないが、大活躍している

新潟市民の安心・安全を守ることが市政の役割です。

新政権が実施する「国土強靱化」や「防災・減災ニューディール政策」による大型補正予算投入等を背景として、新潟市を災害に強い「防災都市」と位置づけ、老朽化が進むインフラの整備や「日本海拠点都市」としての基盤強化を推進しています。「ずっと安心して暮らせる新潟」の実現に向けてこれからも取り組んでいきます。

新潟市議会議員

公式サイト <http://fukaya.uijin.com/>
ブログ <http://s-fukaya.blog.so-net.ne.jp/>
発行 / 深谷しげのぶ事務所

深谷しげのぶ



市政を正せ!
未来を守れ!

平成24年度補正予算186億5642万円を可決

国の大型補正予算を市政に反映 経済対策関連に187億円を計上



市民生活において必要不可欠であるインフラ対策については、新しいものを作るよりも、今あるものを活かして安全に維持していくことを優先し、生活環境を整備することが重要であると考えます。また公共事業や支援事業の増加により、経済対策としての景気回復が期待されます。

平成25年2月議会定例会において、平成24年度補正予算186億5642万円が可決、過去最大規模の補正額を実現することができました。このたびの補正のポイントは、国県補助事業を最大限に活用し、「防災首都」に向けた拠点化への取り組みや、公共施設の耐震化、老朽化したインフラの改修等を加速させるという公共事業の拡大があります。併せて、市単独事業としてリフォーム支援事業を前倒しで計上することが決まりました。

平成25年度一般会計予算

まちづくりの成果を 実感できる年へ 平成25年度一般会計予算を可決 総額3,584億円

新潟市が政令市に移行して7年目を迎える平成25年度の一般会計予算は、総額3584億円と前年度と比較して11億円(+0.3%)の増加となり、さらに2月補正187億円(上記記事掲載)の経済対策関連予算との合計で、約200億円上回るプラス予算となりました。

安心・安全の土台強化

防災機能の強化

- 下水道浸水対策の推進 59億1,700万円
- 橋りょうの維持補修 18億7,080万円
- 平成24年度2月補正 1億円

消防体制の充実

- 消防局庁舎の移転新築 2億1,300万円

避難体制の充実

- 津波災害等避難対策の推進 1,320万円
- 防災情報システムの機能強化 9,800万円

地域防災力の向上

- 自主防災組織等の育成 3,400万円
- 消防団による地域防災力の強化推進 1,600万円

市民主権都市

地域力・市民力を高めるために

- 地域づくりの拠点創出事業 850万円
- 区自治協議会提案の事業化 4,000万円(各区500万円)

大都市行政の推進

- 大都市制度の検討 150万円

助け合い政令市

日本一の福祉都市づくり

- 介護サービス基盤の整備 20億3,702万円
- (仮称)こども発達支援センターの整備 2,500万円
- (仮称)障がい者就業支援センターの運営750万円
- 地域医療対策の推進 775万円
- 介護支援ボランティア制度の普及 1,264万円

健康づくり・食育モデル都市

- 歩行者優先の道づくり(ライジングボラード)2,000万円
- 自転車活用事業 350万円
- (仮称)新潟市アイスアリーナ整備・運営 22億7,390万円
- 新潟シティマラソンの開催 2,684万円
- 子ども農業体験の推進 1,103万円

日本一子育てにやさしい都市

- 妊産婦及び子ども医療費の助成 14億7,675万円
- 待機児童ゼロ対策 42億6,995万円
- ひまわりクラブの運営 9億5,510万円

- こども創造センターの管理運営 1億963万円
- 食と花を活かした交流の推進 2,409万円

日本海拠点都市

防災首都に向けた機能強化

- 新潟駅周辺地区の整備 86億1,890万円
- 平成24年度2月補正 47億200万円
- 新潟中央環状道路の整備 5億6,700万円
- 平成24年度2月補正 6億5,000万円

日本海拠点の実現

- 新潟空港の機能向上と利用促進 9,466万円
- 新潟港の利用活性化推進 2,984万円
- 生活交通の確保維持・強化 2億8,142万円
- 新たな交通システムの導入 2億5,570万円

多様な雇用の場づくり

- 企業立地基本計画に基づく取り組み(航空機産業の集積など) 1,670万円
- 都心軸・萬代橋周辺エリア賑わい空間の創造 3億8,500万円
- 湊町新潟花街文化を活かしたまちづくり 4,500万円
- 産学連携商店街活性化推進事業 350万円

田園文化都市

ニューフードバレーの形成

- 農業活性化研究センター研究費 1,500万円
- 6次産業化サポート事業 360万円

日本一の食と花の新潟づくり

- 食と花の世界フォーラム 5,123万円
- 食文化創造都市の推進(ユネスコ創造都市ネットワーク) 227万円
- アグリパークの整備 7億2,000万円
- 食と花の交流センターの整備 9億6,900万円

都市と農村が助け合う農業都市

- がんばる農家支援事業 3億5,000万円

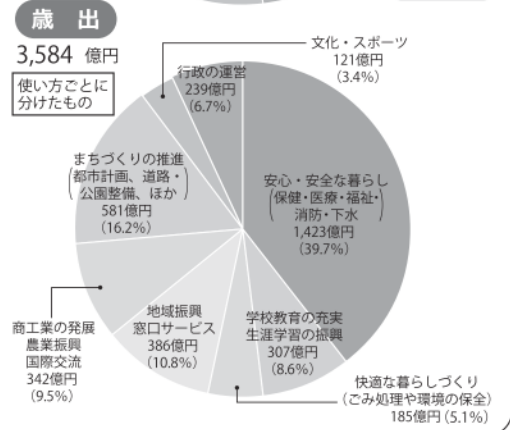
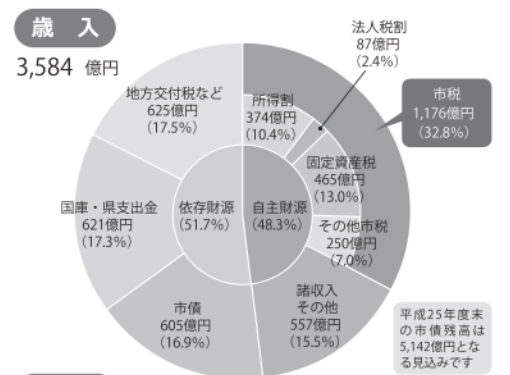
水と土の文化創造都市

- 新潟の魅力発信関連事業 500万円
- 新潟DESTINATIONキャンペーンを活用した誘客促進 4,400万円
- マンガ・アニメ情報館及びマンガの家関連事業 2億4,563万円

スマートエネルギーシティの構築

- 地域と取り組む再生可能エネルギーの導入 900万円
- 防犯灯補助事業 3億1,320万円
- 分別意識の向上と啓発 6,129万円
- 地域と学校が助け合う教育
- 地域と学校パートナーシップ事業 1億4,754万円

平成25年度一般会計予算



※掲載されている予算案は、主要な取組みの概要です ※掲載金額は1万円未満は切り捨てて表記しています

お知らせ

中国総領事館への
市有地売却凍結から2年

旧万代小学校跡地が、現在解体工事中

中国総領事館への市有地売却問題で注目を集め、空き家となっていた旧万代小学校跡地・約1万5000平方メートル(中央区東万代町)の解体工事が現在行われています。解体後の跡地利用の見通しは立っていませんが、近隣住民の皆様をはじめ市民の力で守り通した市の財産が将来にわたって有効活用できるようにお手伝いしていきたいと思ひます。



解体中の旧万代小学校跡地

議会報告会開催のお知らせ

ご参加ください!

新潟市議会では、平成25年度第1回議会報告会を、下記の日程で開催します。全議員が8区に分かれて、議会の活動を直接市民の皆さまにお知らせします。今回は平成25年2月定例会で審議しました当初予算などの概要を報告します。また併せて、市政や議会について、市民の皆さまからの幅広いご意見をお伺いする意見交換会も実施します。事前のお申込みは必要ありませんので、お気軽にご参加ください。

開催日程	日時	会場	
		区	会場
平成25年5月11日(土) 午後1時30分~3時		北区	北地区コミュニティセンター 大ホール
		東区	東区プラザ 多目的ルーム2
		中央区	万代市民会館 6階 多目的ホール
		江南区	亀田市民会館 視聴覚室
平成25年5月12日(日) 午後1時30分~3時		秋葉区	新津健康センター はつらつホール
		南区	白根学習館 ラスベックホール
		西区	黒崎市民会館 ホール
		西蒲区	巻地域保健福祉センター 多目的ホール

市政へのご意見・ご質問・ご要望等
何でもお気軽にお寄せください

深谷しげのぶ 〒950-8061 新潟市中央区西堀通4番町259-58 西堀青藍館ビル405号 TEL 025-378-0177 FAX 025-378-0178